



君は「ぐるぐるランド」を知ってるかい？

「こども食堂サザンクロス」は食で繋がる仲間を大切に、子どもたちの成長を見守る居場所です。この「ぐるぐるランド」はこども食堂サザンクロスが取り組むランドセルのリユース活動です。代表の南谷素子さんにこのSDGs活動に対する思いを取材してきました。

子どもを抱えた世帯の助けになるなら 区内で活動を始めたい

— 活動を始めたキッカケはどんなことだったんですか？ —

そもそも自分の子どもにランドセルを購入しようと思った時に、ランドセルって高価だな、お金がないとランドセルって買えないのねと感じた事があって。こども食堂を始めただけで、助成金以外で運営していくことが難しくって。



子どもが参加できるSDGs活動ですと話す南谷さん

ある時フェイスブックで「こども食堂に寄付を」と載せてみました。それに対して石川県の木下さんという方が連絡をくださって、「少額だけど足しになれば、こういう活動がありますよ」と教えてくれたんです。それが、ランドセルのリサイクル販売だったんです。

「お金」という部分を外して考えると、子どもを抱えた世帯に対して助けになるのであれば、石川県に送るのではなく、荒川区内で活動を始めたい方がよいのではないかと思います。改めてコロナ禍になってから色々動き始めて皆と連絡を取り合って今回、70個近く集まったんですよ！

— このぐるぐるランド、ネーミングが面白いですね。 —

まず、この6年間使われたランドセルをぐるぐるまわす、循環する、リサイクルする、っていうことでぐるぐる。ランドはランドセルのランドですね。6年間の思い出が詰まったランドセルですけど、クリーニングしてまた新しいお子さんの背中に背負われる。思い出も新しくなる。また6年間楽しく過ごしてほしいなと思って、で、思い出もぐるぐる、ランドセルもぐるぐる。まわそうじゃないかと(笑)

残ったランドセルは荒川区子ども応援ネットワークのパントリーに提供します。それでも余る場合は海外に送ります。誰かのためにという気持ちがたまたまSDGs活動になったという感じですね。国際規模でもぐるぐる、です。

— ランドセルのクリーニングって難しいのですか？ —

液体クリーナーとメラミンスポンジ、そして紙タオル。この3つで背面をクリーニングします。その他に溝の埃落とし、鉛筆や時間割を入れる部分の汚れをクリーナーで落としたり、金具部分を磨いたりします。意外に簡単で子どもたちも集中して楽しく作業できますよ。

その思いがきっと誰かの幸せにつながりますから

— この活動に協力してほしい方にメッセージをお願いします。 —

ランドセルのクリーニングはこども食堂にきている子たちにやってもらいたいなと。もしかしたら、クリーニングが好きになって、こんな仕事がしてみたい！なんて気持ちになってもらえるのも大事だと思う。活動が広がれば、引きこもりの子どもにも、家でできることとして提供できないかと考えています。

色々な方からランドセルをつなぐ、ということになると思うんですけど、6年間の思い出が詰まったランドセルを手放したくない、かといって置いておくところもない、置いておいても使わないだろうというご家庭の皆さんは、どうか新しい子どもたちのことを考えていただいて、寄付にご協力いただければと思います。その思いがきっと誰かの幸せにつながりますから。ぜひご賛同いただき、社協さんに持ってきてください。

取材者の声

思いを形にする、行動力と熱意にホレました・・・。



問合せ

荒川区社会福祉協議会
地域ネットワーク課
TEL:03-3802-3338

南谷素子 (なんやもとこ)

荒川区内でこども食堂サザンクロスを運営。
荒川区不登校支援ネットワークにも携わる。